

つくる責任 つかう責任

未来につながる お買い物を

私たちのくらしは、さまざまな恵みで成り立っています。でもそれは、地球のどこから来ているのでしょうか。今ある恵みを未来につなげるために、毎日のお買い物でできることがあります。

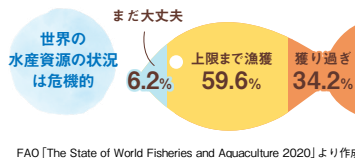
「海の恵み」が
減っています

「森の恵み」も
減っています

「持続可能な
生産と消費」を
進めています



地球の表面の7割を占める海。その豊かな生態系は、私たちの食卓に魚や貝など海の恵みをもたらしてくれています。しかし近年、海水温の上昇やごみの流出、資源の乱獲などで、豊かな海は危機に直面しています。豊富に生息する魚介類はわずか6・2%、約59%はこれ以上漁獲量を増やすことができず、約34%は獲り過ぎです。



世界では、1990年以降、推定4億2千万ヘクタールもの森林が減少したとされています。これは、日本の約11倍の広さの森が失われたということです。その原因はさまざまですが、私たちの暮らしもその一つ。日々利用する木材や紙、そして食品や洗剤などに使われる「パーム油（植物油脂）」などの生産が、時に世界の森林破壊の要因となっているからです。

森林は、私たちに資源をもたらすだけでなく、水の供給源であり、多くの生き物のすみかであり、地球温暖化につながる「二酸化炭素（CO₂）」を吸収してくれる存在でもあります。

豊富な森を未来につなげるために、森林を壊すことなく、必要なのを生産する仕組みを広げる必要があります。

森林は、私たちに資源をもたらすだけでなく、水の供給源であり、多くの生き物のすみかであり、地球温暖化につながる「二酸化炭素（CO₂）」を吸収してくれる存在でもあります。

豊富な森を未来につなげるために、森林を壊すことなく、必要なのを生産する仕組みを広げる必要があります。

インドネシア・西カリマンタン州では、パーム油の原料となるアブラヤシ農園を作るために熱帯林が伐採されています

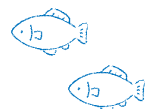
参考：国連食糧農業機関（FAO）
[Global Forest Resources Assessment 2020]

豊かな海や森の恵みを守るために、コープでは商品の品ぞろえや安全性、開発・調達方法の考え方を「商品政策」として定めています。その柱の一つが「持続可能な社会の実現への貢献の考え方」。生産者と協力しながら「環境に配慮している」「持続可能な方法で商品が生産・流通されている」商品の開発と取り扱い拡大を進めています。特に、水産資源と森林資源、パーム油は「持続可能な調達方針」を定め、資源を守りながら作られた商品を組合員の皆さんにお届けしています。

詳しくはこちら



決められた漁獲量を守っていく
必要があります。



なげるために、森林を壊すことなく、必要なのを生産する仕組みを広げる必要があります。

お届けしています。

詳しくはこちら

コープデリグループの持続可能な調達方針と、関連する商品

コープデリグループでは、水産資源、森林資源、パーム油の「持続可能な調達方針」を定めています。持続可能な方法で生産・調達された商品には、それぞれ認証マークが付けられており、こうした商品への切り替えを進めています。マークがついた商品を「選んで買う」ことで、私たちが貴重な海や森の恵みを守ることができます。商品がどうやって作られたのか、買うときに考えることが、SDGsの達成につながります。

水産資源

調達方針：持続可能な水産資源の利用と水産漁業者との連携を強め、日本の魚食文化を育みます。

主な認証マーク



たとえばこんな商品

CO-OP 骨取り赤魚のみぞれ煮

森林資源（紙・パルプ・木材）

調達方針：森林認証プログラムや間伐材・再生紙使用商品の開発と取り扱いを進めます。

主な認証マーク



CO-OP 未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

主な認証マーク



CO-OP コープヌードルしょうゆ

たとえばこんな商品

調達方針：自然と共生する社会の実現に向け、持続可能なパーム油の認知と普及を進めます。

こちらが目印に！



コープ商品では、組合員の皆さんがこれらの商品を選びやすいよう、共通のロゴマークを表示しています

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12：

つくる責任 つかう責任
につながっています。

